

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	<様式10-2>
1	2																				児童館
3	4	活動名	児童回数	乳幼児	小1～3年	小4～6年	中高生	大人	ボランティア	合計											小野
5	6	よらよちクラブ	38	142			5	117													児童と課題
7	8	はいはいクラブ	39	187			6	160													成 果
9	10	すくすくクラブ	34	89			3	68													容
11	12	はぐみん	6	11			9														内
13	14	交通安全教室	1	2			2														（
15	16	夏のひろば	1	1			3														）
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	初心者から上級者まで一週間隔々に取り組み民衆委員さんと交流する
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	成 果と課題
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	0	つないだ機関等
23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	件数
24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	活動名
28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	実施回数	
29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	活動内容	
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	49	49
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53
33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54
34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55
35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	※注
36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動] (2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(令和 6) 年度 児童館事業年間活動報告書

(小野) 見童館

<様式 10-3 >

地域基盤促進機関		活動名	実施回数	主催	参加人数 合計	連携団体	成果と課題
居場所づくり	子育てサロン おのつこひろば(子うま文庫さんのおはなし会) 小野学区基幹ステーション研修会「防災教室」 小野学生チャレンジ体験受入 運営協力会 くれよん座さんのおはなし会	8 小野学区社会福祉協議会 8 小野学区民生児童委員協議会 1 小野児童館 1 小野児童館 4 隣庭中学校 1 小野児童館運営協力会 1 小野児童館 1 小野児童館	144 小野児童館 118 小野児童館 20 小野学区民生児童委員協議会 23 小野学区民生児童委員協議会 8 小野児童館 8 小野児童館 31 小野学区民生児童委員協議会 26 小野学区民生児童委員協議会	144 小野児童館 118 小野児童館 20 小野学区民生児童委員協議会 23 小野学区民生児童委員協議会 8 小野児童館 8 小野児童館 31 小野学区民生児童委員協議会 26 小野学区民生児童委員協議会	144 118 20 23 8 8 31 26		学区社協の方と子どもたちが交流できる場所となっている 地域住民の方々と乳幼児親子が交流できる場所となっている 地域住民の方と地城の住民同士の交流ができる ひろばを通じて地城の住民同士の交流ができる 地域の方と防災を学び、関連する情報交換などができる 中学生が児童館の仕事を利用することで交流ができる 児童館を取り巻く状況や情報を共有することができた 周辺の学区からの参加もあり支援の輪が広がった 地域の方と一緒に手作りの舞台を楽しむことができた
福本	合計		25	—	378		成 果 と 課 題
	活動内容						
						合計	
							成 果 と 課 題
促進機能	(2) ポランティア活動の推進						
	(3) 地域との連携を促進する活動						
	連携団体等			協内			
					合計		

<様式10-4>												
A	B	C	D	E	G	H	I	J	K	L		
1	2			(令和 6) 年度	児童館事業年間活動報告書	(小野) 児童館						
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
基 本 活 動	運営協力会	組織名	構成団体・個人	議題／取組内容	児童館の活動を知つてもらひ、地域の子どもたちの様子や課題を共にできました。地域と共にそれぞれの視点で子どもをとりました。(高齢化や少子化など)各団体(高齢化や少子化など)各団体から児童館への期待も込めてお話を聞いていたる内容と度の計画に反映できる内容となつた。	児童館と事業の活動報告と次年度の計画を報告する。各団体からは活動報告と児童館に関する情報や課題を報告していただきたい。特に学級長からは、小学校の担任制の変更点や施設の修繕状況など詳しくお話をうけた。						
地 域 促 進 活 動	(4)児童館を支える地域組織作り	会場提供・備品貸出等	使 用 目 的	提供先(団体・機関等)	成果と課題	会場提供・備品貸出等	使 用 目 的	提供先(団体・機関等)	成果と課題	会場提供・備品貸出等	使 用 目 的	
(5)地域への施設提供	(6)地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査方法	会場提供・備品貸出等	使 用 目 的	提供先(団体・機関等)	成果と課題	会場提供・備品貸出等	使 用 目 的	
能 力	能 力	利用者共有アンケート	利用者ニーズ等の把握	児童館利用者	アンケート用紙による回答方式とWEBによる回答方式	会場提供・備品貸出等	使 用 目 的	提供先(団体・機関等)	成果と課題	会場提供・備品貸出等	使 用 目 的	
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	

A	B	C	D	E	F	G
1	2	(令和 6) 年度 児童館事業年間活動報告書				<様式 0-5>
3	4	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	成果と課題
5	おにじどうかんだより	月 1 回	京都市立小野小学校	学校への掲示と家庭と教職員への配布	児童館の定期広報	広報している行事の旨由来児童の利用者が少ないことが課題
6			小野市民児童委員協議会	各役員に配布	当月の行事案内と先月の様子報告	児童館は常にご理解とご協力をいただき活動を共にする
7			小野学区社会福祉協議会	各役員に配布	当月の行事案内と先月の様子報告	児童館は常にご理解とご協力をいただき円滑に協力体制をとる
8			山科保健センター	当該施設で配布	当月の行事案内と先月の様子報告	児童館は業者を通じて問題のある家庭の早期発見などに役立てる
9			運営協力会	各役員に配布	当月の行事案内と先月の様子報告	乳幼児は業者にご協力をいたぐ
10			学区内保育園	配架を依頼	当月の行事案内と先月の様子報告	児童館は業者にご協力をいたぐ
11			勤修中学校	校長に配布	当月の行事案内と先月の様子報告	児童館の情報交換時や出版共同などに役立てる
12			小野学区社会福祉協議会	各役員に配布	当月の行事案内と先月の様子報告	児童館は業者にご協力をいたぐ
13	がくどうだより	月 1 回	小野小学校	教職員へ配布	学童クラブの活動内容の定期的な広報	職業体験など中学校との交流に役立てる
14			小野市民児童委員協議会	各役員に配布	学童クラブの活動内容の定期的な広報	児童館の活動や生活を理解してもらい連携を深める
15			運営協力会	各役員に配布	学童クラブの活動内容の定期的な広報	児童館の活動や生活を理解してもらい連携を深める
16					学童クラブの活動内容の定期的な広報	児童館の活動や生活を理解してもらい連携を深める
17						
18	ホームページ (京都市の児童館) (はぐくみだより (アプリ含む) への掲載	月 1 回	主に乳幼児親子	ホームページに掲載	おのじどうかんだよりの掲載と作業の案内	児童館を利用できる日時や行事を確認できるツールとなっている
19		月 1 回	主に乳幼児親子	子どもはぐくみ室へ掲載依頼	おのじどうかんだよりの掲載と作業の案内	児童館を利用できる日時や行事を確認できるツールとなっている
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						
51						

A	B	C	D
1	令和6(2024)年度	学童クラブ事業年間活動報告書	<様式1.1-1>
2	3	4	5
小野児童館		活動の基本目標（指針）	主な取り組み名
安全・衛生の確保	衛生管理	手洗い等の衛生指導を順時行う。ほとんどの子どもに習慣付いているが、一部でハンカチ忘れの改善が見られない。	巡回毎に分かれ、それぞれの出し物や準備物などについて話し合い、準備を取り合いで怪我があり、全体への呼び掛け難い。
健康の管理・情緒の安定	道具の使用、片付け指導	遊具の使い方や、使ったもの元の場所に戻すなどが、子どもたち全員での声掛けも見られる。	週1回、外で身体を動かせる機会として良い気分転換になつていています。ボールの取り合いで怪我があり、全体への呼び掛け隨時必要。
基本的生活習慣の確立	登校、下館時のマナーなど、都度全体会員を職員から行つた。トランポは減ったが、今後も引き続きの声掛けが必要。	巡回入生会は全体でのルール説明を職員から行い、遊びに興る細かい説明などを有志の子どもたちから行つた。	巡回のない2年生以上との子どもたちの運動場や1年生を迎えることができた。
社会生活技術の獲得	持ち物の管理指導	ハンドルの忘れなど多々ある。状況に応じ、子どもたちへの周知だけでなく、保護者にも協力を求める。	お誕生日月に前に出てきてみんなにお祝いしてもらいうのを楽しみにしている子が多い。一方で、自分がお祝いされる立場でない時に騒がしくしてしまう子どもが一定数みられる。
援助機能			
13	けんだまチャレンジ	けんだまチャレンジ&懇親会&館内案内打合せ	検定への挑戦が定着してきて、参加者も増えている。一方で検定の直前しか練習をしない子も多く、中々進級できない。
14	生活体験の拡大	運動場あそび	役取り合いで怪我があり、2年生、やりたい気持ちはあるが、段取りが難しい。
15	社会性の養成	新入生懇親会	巡回入生会のお祝いを各クラス毎に行い、温かい雰囲気で1年生を迎えることができる。
16		館内案内	巡回入生会は全体会員を職員から行い、遊びに興る細かい説明などを有志の子どもたちから行つた。
17		おたんじょうひ会	お誕生日月に前に出てきてみんなにお祝いしてもらいうのを楽しみにしている子が多い。一方で、自分がお祝いされる立場でない時に騒がしくしてしまう子どもが一度も挑戦しない子も多い。
18		もしかめチャレンジ	巡回の記録に積極的に挑戦している参考者が増えてきた。
19		運動場あそび説明	巡回場所でのルール説明を行つたことで、スマーズに運動場あそびをスタートすることができます。
20		けんだま総練習スタッフ会議	けんだまが苦手な子も、会議後など自分の得意なことを分担して進めることができた。
21		避難訓練	けんだまが苦手な子はちゃんと、けんだまが苦手な子も、会議後など自分に定着するよう実施を重ねていく。
22		けんだま総練習	けんだまのやり方や片付けなどについてしっかり金体にレクチャーができた。2年生以上のあまりけんだまをしていない子どもたちにとっても良い機会となつた。
23		おやつマーケット	代休日を利用して、3年生以上の子ども企画で、手作りのゲームなどお店形式の各コーナーを楽しんで回つていた。1、2年生からは次年度以降、スタッフをやりたい、との声が多くあつた。
24		七夕工作	七夕の装飾りで季節感を感じられた。また、専門の願い事を通して、子どもや保護者の交流のきっかけになつた。
25		交通安全教室	警察の方から、交通ルールや、実際に起こった交通事故の話をどうぞ聞いていただき、緊張した面持ちで話を聞いていた。
26		夏工作懇親会	夏工作中に向けた役割分担や準備物などについて話し合つた。最初に分担を決めたことで、責任を持つ取り組むことができた。
27		1年生夏休み大作戦！	1年生だけで落ち込んでいる子がいる中、夏休みでの活動目標について話し合つた。
28		学年会議3年生以上	夏休み中の生活について見通しを立てることができた。
29		学年会議2年生	夏休み中の生活について再確認し、自身の目標を考えた。
30		夏工作	子どもスタッフの進行の下、ブンブンごまを作成。作るだけではなく、その後の遊びにも繋げていきたいかったが、ほとんどの子は作成後すぐには片付けしていた。
31		自立の促進と自主性の尊重	将棋週間開始前に、初めての子どもも向けのレクチャーもあり、たくさんの方もが参加してじっくりと将棋に取り組めた。また、民生児童委員との交流もできた。
32		36	多くの子どもがエンターテイナーとして大会に臨んだ。普段将棋をしない子も含め、みんなで対局を見守っていた。
33		37	普段とは違った環境の中、色々なコーナー遊びを楽しむことができた。公共の場でのマナーの周知は繰り返していく。
34		38	1年間をスライドの写真と共に振り返る。自分の強張ったことや、来年やりたいことなど、自身を振り返るきっかけとなつた。
35		39	1年間での参加者減少共に、自分の様子などを共有することができた。取り組み直後だけでなく、意識を継続させることが課題。
36		40	1年生が大作戦で落ち込んでいる子がいる中、夏休みでの活動目標について話し合つた。
37		41	子ども企画で集まった有志の子どもたちの進行の下、クリスマス会を楽しんだ。時間が押してしまい、後半少し慌ただしくなつてしまつた。
38		42	コアマソビが始まる前に、1年生全体会員に向けてレクチャーを行つた。片付け方など定着させることができた。
39		43	来年度の進級に向けて、職員の思いや、子どもたちの気持ちを話し合う機会となつた。
40		44	多くの子どもがエンターテイナーとして大会に臨んだ。普段将棋をしない子も含め、みんなで対局を見守っていた。
41		45	1年生が大作戦で落ち込んでいる子がいる中、夏休みでの活動目標について話し合つた。
42		46	1年生ヨマ指導
43		47	高学年会議
44		48	1年生ヨマの会
45		49	1年間をスライドの写真と共に振り返る。自分の強張ったことや、来年やりたいことなど、自身を振り返るきっかけとなつた。
46		50	学童クラブでの様子や、家での様子など、自分の操作方法などを共有することができた。参加者減少共に、人権が必要
47		51	新入会員の家庭の生活の流れなどを保護者に知りたいことと、保護者との関係づくりのきっかけとなつた。
48		52	子育て支援センターにて、子育てを支えるネットワーク形成
49		53	子育て支援センターにて、子育てを支えるネットワーク形成
50		54	子育て支援センターにて、子育てを支えるネットワーク形成
51		55	子育て支援センターにて、子育てを支えるネットワーク形成
52		56	子育て支援センターにて、子育てを支えるネットワーク形成
53		57	子育て支援センターにて、子育てを支えるネットワーク形成

書告報動間活年業事ブラク学童(2024)令和6年